

# 温室効果ガス（GHG）排出量 2025

## GHG 排出量

### 【算定範囲】

- ・スコープ 1（直接排出）：都市ガス、LPG、天然ガス、A 重油、ガソリン、軽油、非エネルギー系 GHG など
- ・スコープ 2（間接排出）：電力
- ・スコープ 3（その他の間接排出）：カテゴリ-1 から 15

### 【対象会社】

- ・RISO グループ：理想科学工業株式会社及び連結子会社 25 社

### 【集計時期】

- ・2024 年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日）

### 【備考】

- ・2024 年度より、算定の正確性向上を目的としてプロセスを改善しました。これに伴い、一部の項目において前年度以前の数値との連続性が失われているため、経年での比較には適さない箇所があります。

## GHG 排出量（スコープ 1,2）

### 1. スコープ別の GHG 排出量データ

単位：t-CO<sub>2</sub>e

スコープ	2024 年度
スコープ 1	3,901
スコープ 2 マーケット基準	6,691
(スコープ 2 ロケーション基準)	(6,364)
合計 スコープ 1+スコープ 2 マーケット基準	10,591

### 2. ガス種類別の GHG 排出量データ

単位：t-CO<sub>2</sub>e

ガス種類	2024 年度	
CO <sub>2</sub>	エネルギー起源 スコープ 1	3,445
	エネルギー起源 スコープ 2 マーケット基準	6,691
	非エネルギー起源	4
CH <sub>4</sub>	212	
N <sub>2</sub> O	89	
HFCs	150	
PFCs	該当なし	
SF <sub>6</sub>	0	
NF <sub>3</sub>	該当なし	
合計	10,591	

\* スコープ 1：直接排出（都市ガス、LPG、天然ガス、A 重油、ガソリン、軽油、非エネルギー系 GHG など）

\* スコープ 2：間接排出（電力）

\* 2024 年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日）

\* 合計は、端数処理の関係で、各項目の合算と一致しない場合があります。

#### 【算出条件】

算出方法：GHG プロトコル（事業者排出量算定報告基準改訂版）準拠

排出係数：スコープ 1

＜日本・海外＞ 環境省公表「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」の数値を使用

：スコープ 2

＜日本＞ マーケット基準は「電気事業者別排出係数」にある各拠点で契約している電力事業者の調整後排出係数を使用。電力事業者を特定できない場合は全国平均排出係数を使用。ロケーション基準は「電気事業者別排出係数」にある全国平均排出係数を使用

＜海外＞ マーケット基準及びロケーション基準ともに、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEA ラボ「LCI データベース AIST-IDEA Ver.3.5」にある各国の排出係数を使用

地球温暖化係数：IPCC 第 6 次報告書の地球温暖化係数 100 年値を使用

## GHG 排出量（スコープ 3）

単位：t-CO<sub>2</sub>e（%）

カテゴリー		2024 年度
1	購入した物品・サービス	71,402 (73.5)
2	資本財	3,058 (3.1)
3	スコープ 1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	2,800 (2.9)
4	輸送、配送（上流）	9,640 (9.9)
5	事業から出る廃棄物	410 (0.4)
6	出張	373 (0.4)
7	雇用者の通勤	670 (0.7)
8	リース資産（上流）	該当なし
9	輸送、配送（下流）	3,459 (3.6)
10	販売した製品の加工	該当なし
11	販売した製品の使用	3,482 (3.6)
12	販売した製品の廃棄	1,353 (1.4)
13	リース資産（下流）	561 (0.6)
14	フランチャイズ	該当なし
15	投資	該当なし
<b>合計</b>		<b>97,208 (100)</b>

\* 2024 年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日）

\* 合計は、端数処理の関係で、各項目の合算と一致しない場合があります。

### 【算定条件】

- 算定方法：環境省・経済産業省発行「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン Ver2.4」を参考
- 算定ツール：産業技術総合研究所 LCA 活用推進コンソーシアム発行「スコープ 3 算定ツール 2025 年度版」
- 排出原単位：①国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEA ラボ「LCI データベース AIST-IDEA Ver.3.5」  
②環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等の算定のための排出原単位データベース(Ver.3.5)」  
③主要原材料に関するサプライヤー提供の排出原単位（1 次データ）
- 地球温暖化係数：気候変動 IPCC 2021 GWP 100a without LULUCF
- その他：①GHG 排出量全体への影響が軽微な項目についてはカットオフ（除外）としています。  
②データの確実性を担保するため、実績の集計・推計が困難な一部のプロセスの排出は算定範囲外としています。

**[各カテゴリーの算定方法]**

カテゴリー		対象	算定方法
1	購入した物品・サービス	製造及び販売する機器、ならびに関連する消耗品	製造する機器及び消耗品は構成する素材投入量に排出原単位を乗じ、仕入品は仕入価格に商品の排出原単位を乗じて算出
2	資本財	RISO グループの設備投資	年度の新設設備額に排出原単位を乗じて算出
3	スコープ 1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	購入した電力、燃料	燃料・電力・熱等の購入量に、資源採取段階から輸送段階までの排出原単位を乗じて算出
4	輸送、配送（上流）	印刷機器事業として製造及び販売、ならびに関連する消耗品の輸送	輸送手段別の荷量に輸送距離を乗じ、更に輸送手段別排出原単位を乗じて算出
5	事業から出る廃棄物	種類別の廃棄物	廃棄物処理・リサイクル業者への荷量に、排出原単位を乗じて算出
6	出張	RISO グループ従業員	出張した従業員数に、従業員当たりの排出原単位を乗じて算出
7	雇用者の通勤	RISO グループ従業員と勤務日数	従業員数と稼働日数及び排出原単位を乗じて算出
8	リース資産（上流）	対象外（スコープ 2 に含む）	—
9	輸送、配送（下流）	機器及び消耗品の、出荷拠点から使用場所までの輸送、ならびに使用場所から回収拠点・処理事業所に至る輸送	輸送手段別の荷量に対し輸送距離を乗じ、輸送手段別排出原単位を乗じて算出
10	販売した製品の加工	対象の事例は無し	—
11	販売した製品の使用	該当年度に販売した機器台数	各地域で販売した機器台数に地域別電力排出原単位を乗じて算出
12	販売した製品の廃棄	機器の寿命を超過した機器と消耗品	廃棄対象数量に回収率を乗じ、処理に応じた排出原単位を乗じて算出
13	リース資産（下流）	リース不動産物件が消費したエネルギー —	リース資産にエネルギー消費の排出原単位を乗じて算出
14	フランチャイズ	対象の事例は無し	—
15	投資	対象の事例は無し	—

## **GHG 排出量の第三者検証**

当社は、算定における信頼性向上のため、一般財団法人日本品質保証機構（JQA）による第三者検証を受けています。2024 年度の GHG 排出量については、同機構より環境情報検証報告書を取得いたしました。

## 理想科学工業株式会社

本社／〒108-8385 東京都港区芝五丁目 34 番 7 号 田町センタービル

【お問い合わせ先】 環境活動推進部

Tel. 03-5441-6778

E-mail: [info@riso.co.jp](mailto:info@riso.co.jp) URL: <https://www.riso.co.jp/>